

第21回日整全国少年柔道大会
第2回日整全国少年柔道形競技会
奈良県予選 2012



日時 平成24年6月17日(日)
場所 奈良市中央第二武道場
後援 奈良県柔道連盟
奈良県柔道場協会
協賛 奈良県柔道整復師協同組合

主催・社団法人奈良県柔道整復師会

大会会長挨拶

社団法人奈良県柔道整復師会会長 辰己 二三雄



日整全国少年柔道大会奈良県予選は今年で21回目を迎えます。本大会を、奈良県柔道連盟、奈良県柔道場協会のご後援を得、また、審判員の皆様方、運営に携わっていただいている方々のご協力のもと、開催できます事を主催者といたしまして心より感謝申し上げます。

社団法人奈良県柔道整復師会は、柔道の普及、奨励、発展に寄与することを目的として、毎年当大会を開催しています。奈良県の柔道が全国的に高レベルである事は今更云うまでもありません。毎年講道館で開催されます日整全国少年柔道大会に於いても、本県は好成績を残しており、一昨年開催された第19回大会では準優勝という好成績を収めたことは記憶に新しいところです。少年達の健闘ぶりを拝見するたび、心を熱くしています。今後も我々の業務と関わりの深い「柔道」という競技を通じて、少年少女の健全な心身の育成に努めて行きたいと思っています。

また近年本会では、各種スポーツ大会への救護班派遣活動に力を注いでおります。柔道のみならず、様々なスポーツ大会へ救護班を派遣することで、柔道整復師と云う者の仕事を皆様にご理解いただくと共に、柔道整復師が持つ医療技術が少しでも皆様のお役に立てればと考えています。

今後益々、本大会が充実した大会となりますよう努力していく所存です。何卒、皆様にはご協力いただきますようお願い申し上げます、関係各位に心より感謝申し上げます、挨拶とさせていただきます。

柔道整復師とは・・・

国家試験に合格し、厚生労働大臣から免許を与えられ「骨折」「脱臼」「捻挫」「打撲」「挫傷(肉離れなど)」などの施術をする職業の正式名称です。地域の皆様には「ほねつぎ」「接骨」として一般的に知られ、「整骨院」「接骨院」を開業しています。

「柔道整復師」の施術とは、急な動作や事故で起こるケガ、例えばスポーツでのケガ・転倒でのケガ、また無理な動作や長時間同じ動作で組織が痛んで出てくる症状に対して、手術等の外科的手段や投薬・注射を行わず「非観血的療法」で行う手技療法(手当)です。最近では、病院・医院などでの勤務やスポーツトレーナーとして活躍の場を広げ、介護保険制度の中でもケアマネージャーや機能訓練指導員として福祉分野にも貢献しています。

大会次第

1 . 開会式

午前 9 時 3 0 分

- 1) 役員 ・ 選手 整 列
- 2) 開 会 宣 言
- 3) 会 長 挨 拶
社団法人奈良県柔道整復師会 会長 辰己二三雄
- 4) 来 賓 挨 拶
- 5) 審 判 上 の 注 意
奈良県柔道場協会 理事長 梶谷 登
- 6) 選 手 宣 誓
桜井市柔道連盟 中野 寛太

2 . 試合開始

- 1) 形 競 技 会 第1試合場
- 2) 個 人 ・ 団 体 戦 全試合場

3 . 閉会式

- 1) 役員 ・ 選手 整 列
- 2) 成 績 発 表
- 3) 表 彰
- 4) 閉 会 宣 言

大 会 役 員

大会会長	社団法人奈良県柔道整復師会 会長	辰 己 二 三 雄
大会副会長	奈良県柔道場協会 会長	野 村 基 次
大会委員長	社団法人奈良県柔道整復師会 柔道部長	竹 花 清 幸
大会副委員長	奈良県柔道場協会 副会長	菱 田 肇
	奈良県柔道場協会 副会長	青 木 順 次
	奈良県柔道場協会 副会長	岡 島 俊 夫
大会委員	社団法人奈良県柔道整復師会 副会長	川 口 貴 弘
	社団法人奈良県柔道整復師会 副会長	岩 井 寿 浩
審判長	奈良県柔道場協会 理事長	梶 谷 登
審判員	(○印は各会場主任)	
第1試合場	○ 麻 田 茂 雄 越 智 庸 高	石 津 佳 和
	山 口 隆 博 上 島 誠 治	
第2試合場	○ 竹 上 正 記 三 宅 和 平	中 村 晃 士
	澤 田 幸 孝	
第3試合場	○ 植 田 龍 一 秋 窪 鐵 郎	長 谷 川 怜 介
	小 寺 一 典	
第4試合場	○ 堀 健 一 郎 青 木 順 次	井 上 庄 一
	磯 本 恭 太 中 島 輝 男	
総務	西 畑 弘 毅 勝 良 憲 浩	
	社団法人奈良県柔道整復師会 理事・柔道部	
司会進行	竹 花 清 幸	
会場	社団法人奈良県柔道整復師会 会員	
協力	鴻乃池道場中学生部員	
受付	社団法人奈良県柔道整復師会 会員	
救護	社団法人奈良県柔道整復師会 会員	

第21回日整全国少年柔道大会奈良県予選 実施要綱

- 1 日 時 平成24年6月17日(日) 午前8時30分開場
午前9時30分開会
- 2 会 場 奈良市中央第二武道場
〒630-8108 奈良市法蓮佐保山四丁目6番3号
電話 0742-27-6163
- 3 趣 旨 柔道を通じて、少年少女の健全なる心身の育成に努めると共に
参加者相互の親睦並びに、柔道整復師に対する理解を深め、
柔道の発展に寄与することを目的とする。
- 4 主 催 社団法人奈良県柔道整復師会
〒634-0046 橿原市栄和町84-2
電話 0744-25-4311 FAX 0744-25-6861
- 5 後 援 奈良県柔道連盟、奈良県柔道場協会
- 6 協 賛 奈良県柔道整復師協同組合

- 7 選 手 (1) 個 人 戦
出場は各学年につき各団体2名までとする。
団体戦との重複出場は不可とする。
3年生以下の個人戦出場は認めない。
個人戦の選手変更は認めない。
- (2) 団 体 戦
チームの編成は道場単位とする。(混成チームは認めない)
1チームの人員は監督1名、選手5名とする。
- 選 手 内 容

	高学年の部	低学年の部
先鋒	4年生	2年生
次鋒	5年生	2年生
中堅	5年生	3年生
副将	6年生	3年生
大将	6年生	4年生

男女を問わない、学齢適齢であること。
該当年齢に欠員の場合は下位学年で補うことができる。
但し、2学年下からの補充は認めない。
学年順、軽量から順番に先鋒より配列のこと。
下位学年から出場の場合、学年順で配置すること。
同学年で欠員ある場合、後詰めで配置すること。
補欠は認めない。
選手交代は開会式までに監督が受付に申し出ることにより
認める。試合開始後の変更は負傷が出た場合も認めない。
個人戦との重複出場は不可とする。

- 8 試 合 個人戦・団体戦とも当日開催される形競技会終了後一斉に試合開始とする。
- (1) 個 人 戦
各学年トーナメント方式とする。
- (2) 団 体 戦
団体トーナメント方式とする。
各チーム5名の点取り対抗戦とし、試合毎のオーダー変更
は認めない。
勝敗決定の方法は次の通りとする。
イ) 勝ち数の多いチームを勝ちとする。

- ロ) 勝ち数が同じ時は内容
(「一本」「技あり」の勝ち数)による。
- ハ) 内容も同じ時は代表戦を1回行い、必ず優劣を
決する。

- 9 審判規定 (1) 国際柔道連盟試合審判規定「少年柔道申し合せ事項」
よって行う。
(2) 試合時間
個人戦・団体戦(準決勝・決勝) 2分(ロスタイムあり)
団体戦(1回戦～準々決勝) 2分(ロスタイムなし)
(3) その他不測の事態が生じた場合の処置は審判長に一任する。
- 10 会議 審判員、監督会議は試合開始前に会場にて行う。
- 11 表彰 団体・個人とも優勝、準優勝、第三位(2チーム)を表彰する。
- 12 申込 (1) 申し込みは所定の書類により(社)奈良県柔道整復師会に
申し込むこと。
社団法人奈良県柔道整復師会
〒634-0046 橿原市栄和町84-2
電話 0744-25-4311 FAX 0744-25-6861
(2) 申し込み締め切りは
平成24年4月24日(火)とする(郵送のみ可)
- 13 抽選会 平成24年4月28日(土)午後3時
社団法人奈良県柔道整復師会
〒634-0046 橿原市栄和町84-2
電話 0744-25-4311 FAX 0744-25-6861
- 14 保険 参加者全員の傷害保険は主催者負担とする
- 15 代表 全国大会
個人戦5・6年生の部優勝、準優勝者と4年生の部優勝者で
奈良県代表チームを編成し全国大会に出場する。
近畿大会
各学年(4年、5年、6年)の個人戦出場者より、
全国大会代表選手を除いた上位入賞者、各4名を
近畿大会への奈良県代表選手とする。
- 16 全国大会 名称 文部大臣杯争奪第21回日整全国少年柔道大会
日時 平成24年10月8日(月・祝) 午前8時30分開場
午前9時30分開会
会場 講道館大道場
〒112-0003 東京都文京区春日1-16-30
電話 03-3818-4171
- 17 近畿大会 名称 第3回近畿ブロック少年柔道大会
日時 平成24年7月16日(月・祝) 午前9時30分開会(予定)
会場 奈良市中央第二武道場
〒630-8108 奈良市法蓮佐保山四丁目6番3号
電話 0742-27-6163
- 18 ホームページ 日整全国少年柔道大会奈良県予選、近畿ブロック、少年柔道大会、
本会主催強化練習会及び日整全国少年柔道大会の
画像・動画・記録は本会ホームページ内等で公開させていただきます。
ご了承ください。

第2回日整全国少年柔道形競技会奈良県予選 実施要綱

- 1 日 時 平成24年6月17日(日) 午前8時30分開場
午前9時30分開会
- 2 会 場 奈良市中央第二武道場
〒630-8108 奈良市法蓮佐保山四丁目6番3号
電話 0742-27-6163
- 3 趣 旨 嘉納治五郎師範は柔道稽古方法「形」と「乱取」の二種に分類し、「形」は攻撃防御に関しあらかじめ種々の場合を定め、理論に基づき身体の動きを規定し、その規定のごとく稽古すると教え、「乱取」とは一定の方法に拠らず、各自、勝手的手段を用いて稽古することであると教えられた。「投の形」は講道館柔道草創期の時代を背景として制定された古典である。少年少女柔道は試合優先主義、勝負一辺倒から技の理合いの原点を正しく理解、体得させることが極めて重要である。柔道を通じて、少年少女の健全なる心身の育成に努めると共に、参加者相互の親睦並びに、柔道整復師に対する理解を深め、柔道の発展に寄与することを目的とする。
- 4 主 催 社団法人奈良県柔道整復師会
〒634-0046 橿原市栄和町84-2
電話 0744-25-4311 FAX 0744-25-6861
- 5 後 援 奈良県柔道連盟、奈良県柔道場協会
- 6 協 賛 奈良県柔道整復師協同組合
- 7 選 手 参加は各団体1チームのみとする。
監督、選手は全日本柔道連盟登録済みであること。
構成は監督1名、選手2名とする。
選手は小学生であること(大会当日4年生以上であること)。
国籍、男女を問わない、学齡的例であること。
選手交代は開会式までに監督が受付に申し出ることにより認める。
試合開始後の変更は負傷が出た場合も認めない。
当日開催される個人戦との重複出場は不可とする。(団体戦は可)
個人戦・団体戦の実施要項は別紙参照のこと。
- 8 競技種目 投の形(手技・腰技・足技のみ)計9本
- 9 競技方法 開会式終了後、第1試合場にて形競技会を開催する。
演技は各組1回とする。
審判基準の細部については別途定める。
当日抽選で決定した競技順にて、ひと組ずつ演武を行う。
不測の事態が生じた場合の処置は、審判員長に一任する。
- 10 会 議 審判員、監督会議は試合開始前に会場にて行う。
- 11 表 彰 優勝・準優勝・3位・4位を表彰する。
優勝チームは全国大会へ出場する。
優勝チームは近畿大会において演武を行う。
- 12 保 険 参加者全員の傷害保険は主催者負担とする
- 13 全国大会 名 称 文部大臣杯争奪第21回日整全国少年柔道大会
日 時 平成24年10月 8日(月・祝) 午前8時30分開場
午前9時30分開会

会 場 講道館大道場
〒112-0003 東京都文京区春日1-16-30
電話 03-3818-4171

14 近畿大会 名 称 第3回近畿ブロック少年柔道大会
日 時 平成24年7月16日(月・祝) 午前9時30分開会(予定)
会 場 奈良市中央第二武道場
〒630-8108 奈良市法蓮佐保山四丁目6番3号
電話 0742-27-6163

15 ホームページ 日整全国少年柔道大会奈良県予選、近畿ブロック、少年柔道大会、
本会主催強化練習会及び日整全国少年柔道大会の
画像・動画・記録は本会ホームページ内等で公開させていただきます。
ご了承ください。

形競技会出場選手

五條五大館道場	
監督	梶 谷 登
1	牧 野 早 姫 (5年)
2	平 井 真 百 合 (5年)

橿原市柔道クラブ	
監督	秋 窪 鐵 郎
1	佐々木航平 (6年)
2	中 野 颯 斗 (6年)

大和高田市柔道連盟	
監督	植 田 龍 一
1	長谷川優珠 (6年)
2	植 田 実 有 (6年)

怒涛館石津道場	
監督	石 津 宏 一
1	中 井 一 樹 (6年)
2	仲 尾 芹 菜 (5年)

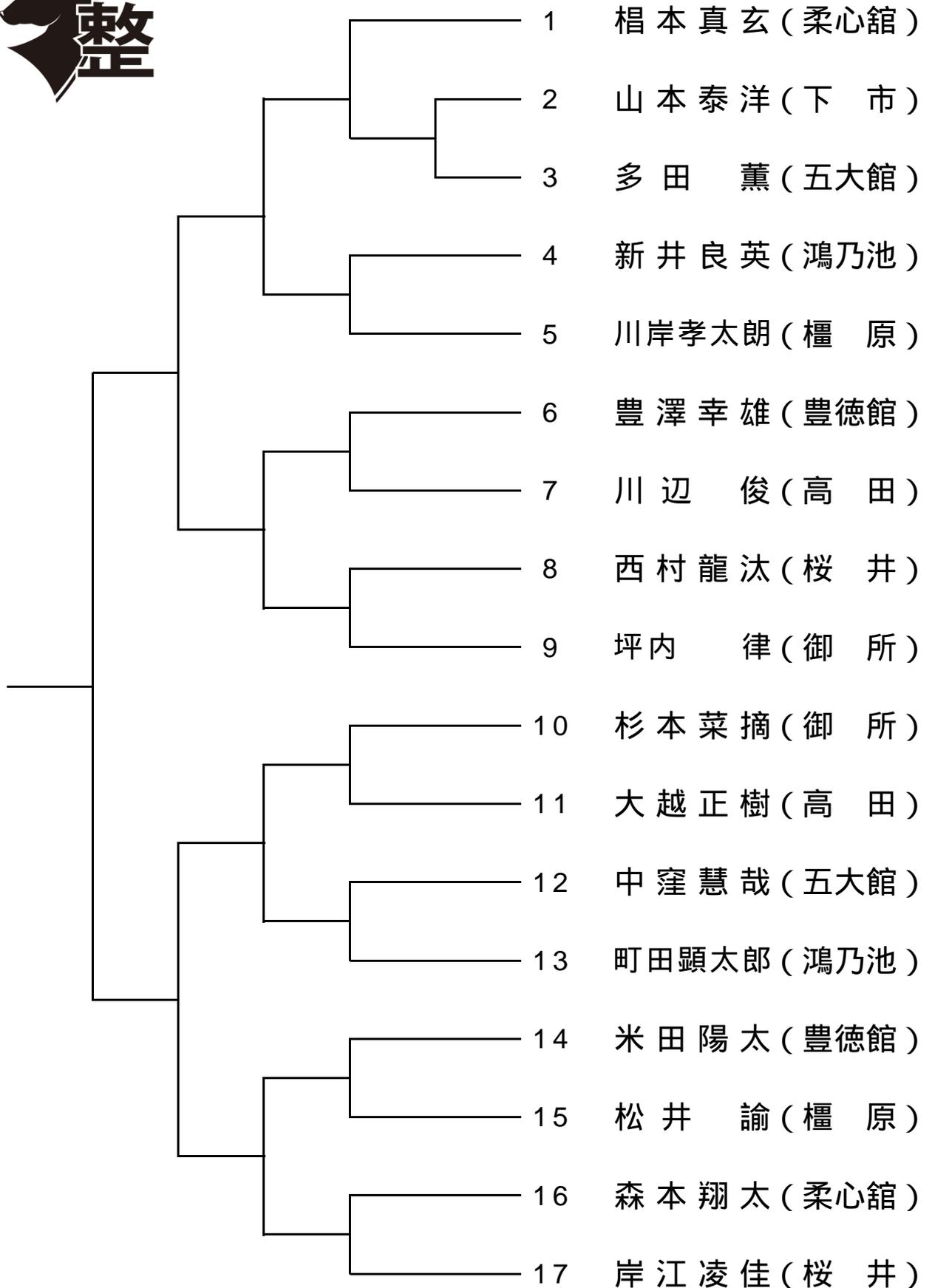
鴻乃池道場	
監督	麻 田 茂 雄
1	堀 川 壮 琉 (6年)
2	中 野 柊 羽 (6年)

新庄柔道クラブ	
監督	岡 島 俊 夫
1	永 長 武 留 (6年)
2	岡 島 弘 明 (5年)

大淀町柔道協会	
監督	奥 村 和 之
1	近 藤 翼 (6年)
2	梅 本 孝 太 (6年)

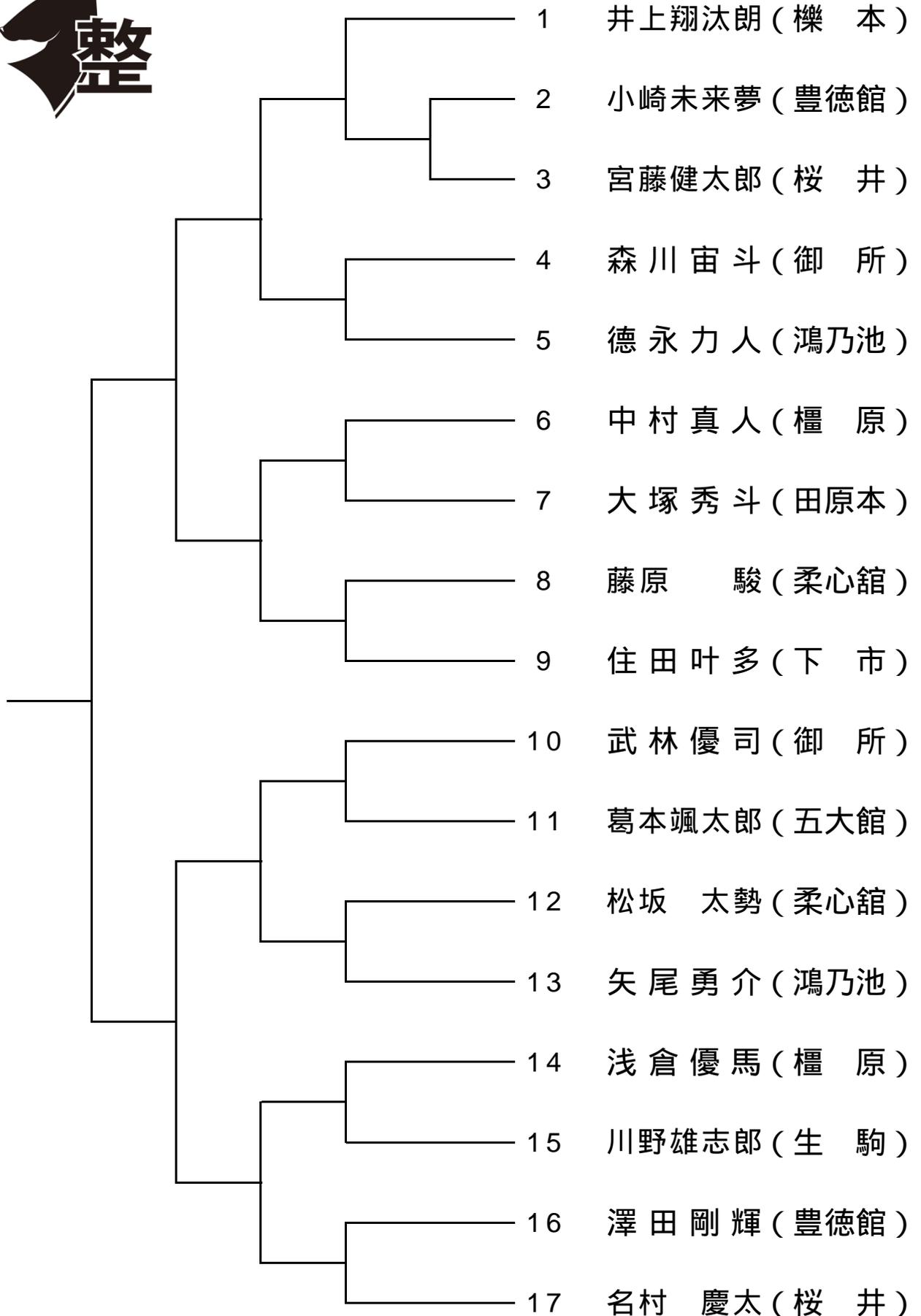


個人戦・4年生の部(17名)



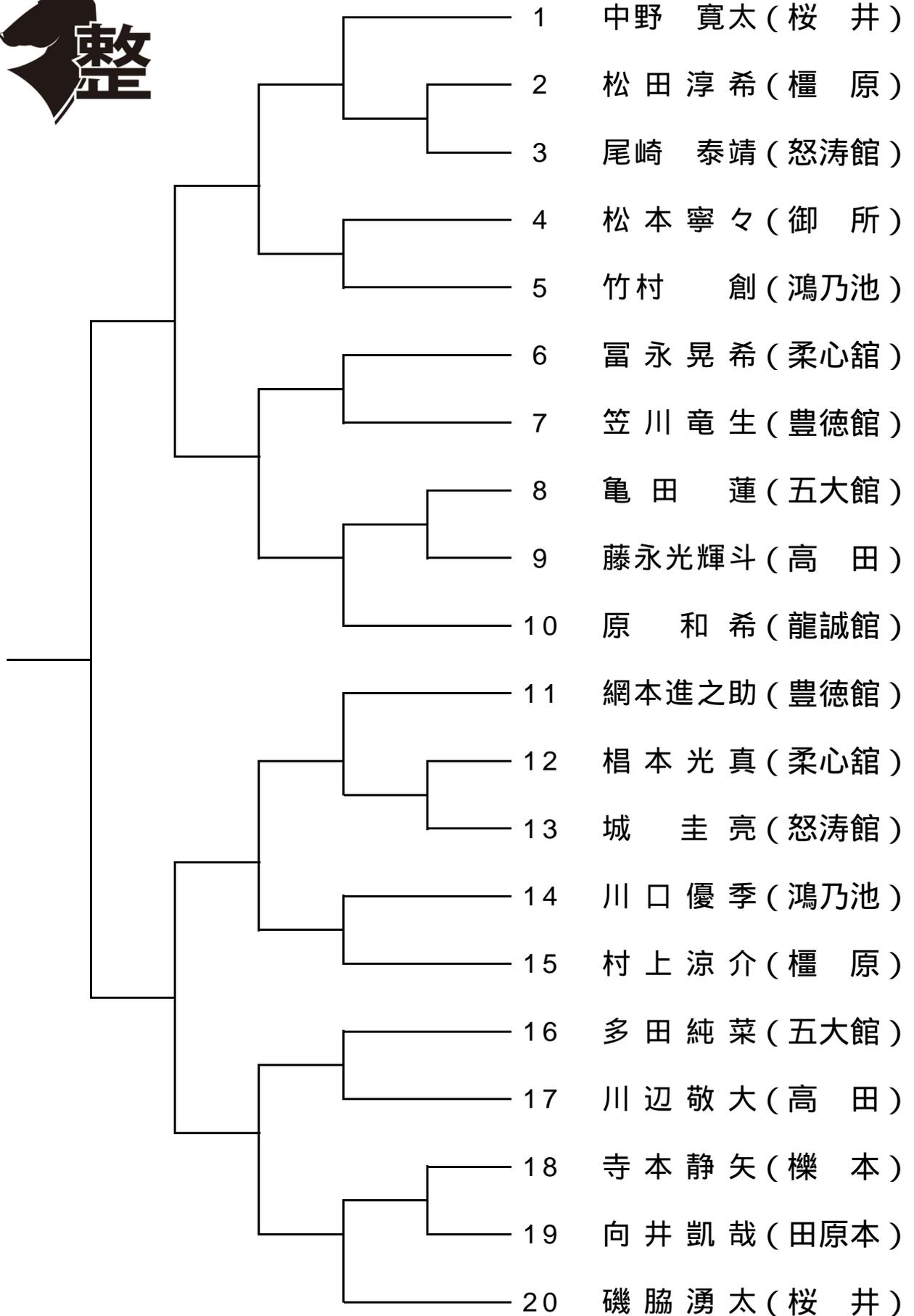


個人戦・5年生の部(17名)



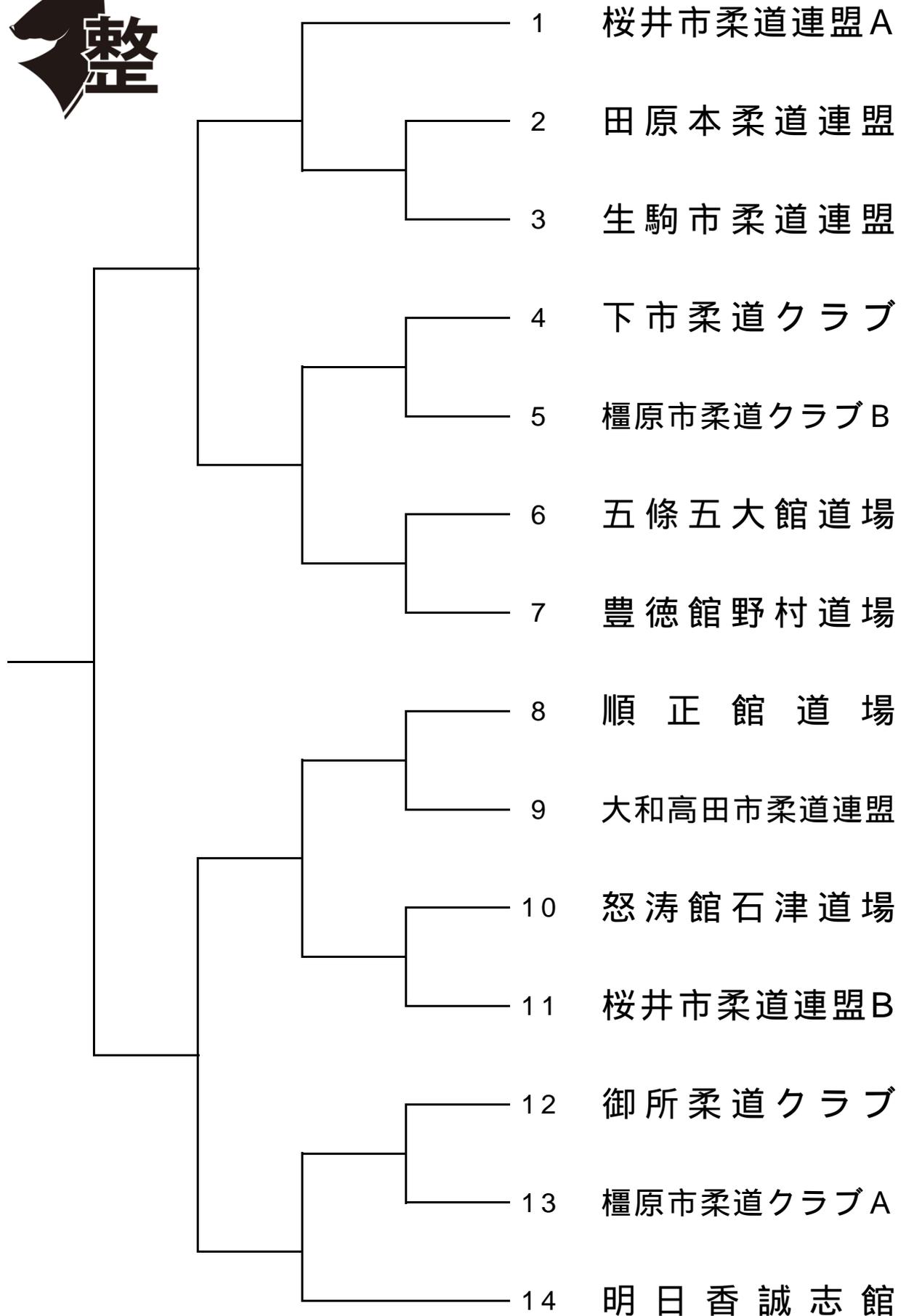


個人戦・6年生の部(20名)



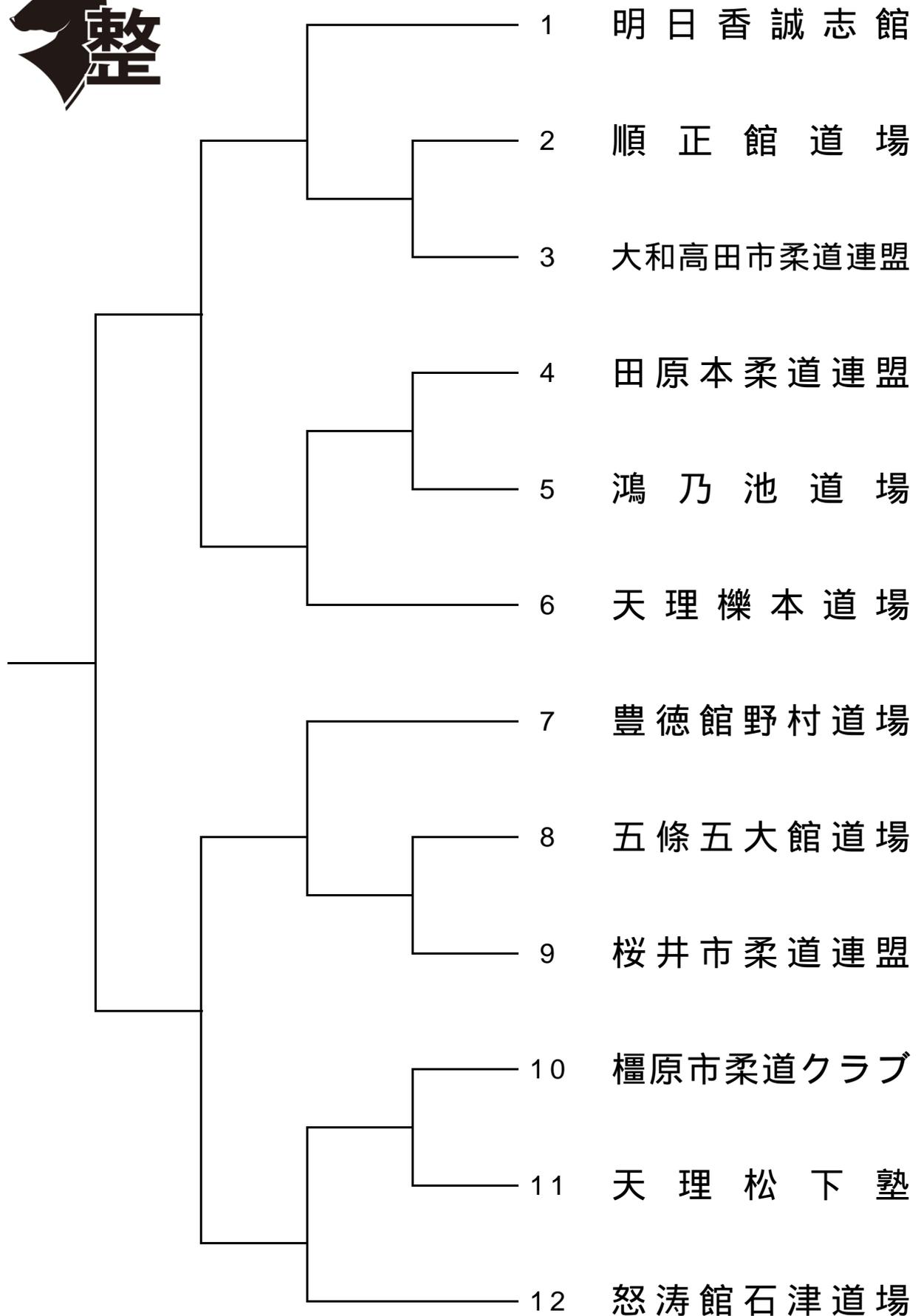


団体戦・低学年の部 (14チーム)





団体戦・高学年の部 (12チーム)



団体・低学年の部

五條五大館道場	
監督	梶谷 登
先鋒	
次鋒	
中堅	櫻井 誠也
副将	谷本 湧哉
大将	道浦 準志

田原本柔道連盟	
監督	古川 裕明
先鋒	桜井 浩大朗
次鋒	矢野 来夏
中堅	桜井 要大朗
副将	高石 空良
大将	向原 豪大

下市柔道クラブ	
監督	堀 健一郎
先鋒	
次鋒	日裏 和志
中堅	中西 梓
副将	谷 恵多
大将	堀 さくら

橿原市柔道クラブA	
監督	米田 光志
先鋒	中村 章人
次鋒	中居 優樹
中堅	岡村 漣弥
副将	杉村 美寿希
大将	新添 祥梧

橿原市柔道クラブB	
監督	村井 秀之
先鋒	山中 圭冴
次鋒	樋上 敦也
中堅	
副将	
大将	山中 柊也

順正館道場	
監督	三宅 和平
先鋒	紺谷 凌空
次鋒	大西 俊哉
中堅	篠原 真基
副将	岩谷 治郎
大将	田中 三喜

大和高田市柔道連盟	
監督	植田 龍一
先鋒	大越 美琴
次鋒	石田 真子
中堅	藤井 晴生
副将	成瀬 功
大将	石田 千尋

豊徳館野村道場	
監督	堀内 衣織
先鋒	川内 雄大
次鋒	越智 正徳
中堅	佐藤 望彩輝
副将	北川 翔詠
大将	吉永 光輝

怒涛館石津道場	
監督	石津 萬子
先鋒	吉田 雅
次鋒	中島 大輔
中堅	平野 匡嗣
副将	藤井 翔規
大将	毛利 俊太

桜井市柔道連盟A	
監督	名村 真樹
先鋒	杉本 蓮
次鋒	福家 蓮
中堅	文 銘一
副将	森岡 奈々実
大将	吉田 直斗

桜井市柔道連盟B	
監督	岸江 清美
先鋒	杉本 晴空
次鋒	福家 陣
中堅	橋本 瞬来
副将	杉浦 匠
大将	西本 陽翔

明日香誠志館	
監督	松本 和彦
先鋒	
次鋒	松元 弘建
中堅	八千古嶋 陽
副将	佐藤 輝茂
大将	垂井 裕志

御所柔道クラブ	
監督	福本 正寛
先鋒	上島 利一朗
次鋒	有馬 正明
中堅	竹内 滝馬
副将	松本 真白
大将	竹内 麻帆

生駒市柔道連盟	
監督	奥山 隆庸
先鋒	神尾 寿々葉
次鋒	南野 桜綾
中堅	晴家 秀吉
副将	大霜 歩
大将	池部 健大



団体・高学年の部

五條五大館道場		田原本柔道連盟		天理松下塾	
監督	山口 隆 博	監督	福 岡 真 人	監督	安 川 和 幸
先鋒	上 田 哉 豊	先鋒	向 井 球 真	先鋒	安 川 千 晶
次鋒	上 北 健 太	次鋒	福 岡 英 樹	次鋒	紙 谷 心 優
中堅	道 浦 雄 吾	中堅	東 優 成	中堅	渡 辺 悠 花
副将	山 本 将 義	副将	堀 川 仁 一 郎	副将	玉 山 士 温
大将	中 窪 洸 貴	大将	蔦 葵	大将	安 川 千 尋
天理櫛本道場		橿原市柔道クラブ		順正館道場	
監督	辻 村 正	監督	秋 窪 鐵 郎	監督	山 根 理 一
先鋒	辻 村 虎 誠	先鋒	餅 原 彩	先鋒	磯 貝 理 一
次鋒	辻 村 優 希	次鋒	竹 本 大 輝	次鋒	柴 田 理 菜
中堅	井 上 慧 汰	中堅	松 本 紗 枝	中堅	大 西 莉 奈
副将		副将	佐 々 木 航 平	副将	船 木 幸 人
大将	井 上 萌 々 夏	大将	杉 村 晃 希	大将	細 川 晋 佑
大和高田市柔道連盟		豊徳館野村道場		怒涛館石津道場	
監督	植 田 龍 一	監督	堀 内 衣 織	監督	石 津 宏 一
先鋒	神 力 藤 華	先鋒	堀 田 優 貴	先鋒	岳 藤 類
次鋒	森 川 真 子	次鋒	佐 藤 輝 斗	次鋒	北 嶋 勇 人
中堅	福 田 朱 栞	中堅	大 門 尚 弥	中堅	仲 尾 芹 菜
副将	長 谷 川 優 珠	副将	北 口 龍 蔵	副将	中 井 一 樹
大将	神 力 悠 輔	大将	堀 田 優 希	大将	毛 利 太 紀
桜井市柔道連盟		明日香誠志館		鴻乃池道場	
監督	川 村 幸 三	監督	竹 上 正 記	監督	西 田 信 広
先鋒	山 名 怜	先鋒	畑 楠 彬 一 郎	先鋒	瀧 藤 壮 一 郎
次鋒	石 井 翔 也	次鋒	竹 上 凌 平	次鋒	須 河 大 誠
中堅	和 田 太 一 郎	中堅	佐 藤 宏 保	中堅	寺 田 雄 一 郎
副将	辺 川 湧 大	副将	岡 山 空	副将	岡 本 侑
大将	川 村 竜 士	大将	上 西 美 穂	大将	安 村 卓 哉



過去 の 記 録

第16回大会奈良県予選

平成19年6月17日(日) 奈良市中央第二武道場

	優勝	準優勝	3位	3位
個人4年生	羽山健太(桜井)	砂田将吾(怒涛館)	西川颯人(橿原)	村井惟衣(橿原)
個人5年生	植田恭介(怒涛館)	森元希(五大館)	牧野壮一郎(五大館)	中野太一(桜井)
個人6年生	村井慎太郎(橿原)	木村竜也(高田)	佃健吾(橿原)	堀歩朱(五大館)
団体低学年	怒涛館石津道場	橿原市柔道クラブA	桜井市柔道連盟A	大和高田市柔道連盟A
団体高学年	怒涛館石津道場	橿原市柔道クラブ	桜井市柔道連盟	鴻乃池道場

第16回全国大会

平成19年10月8日(祝・月) 東京・講道館

1 回 戦	奈良県 0	-	2 宮 崎 県
優 勝	宮 崎 県		準 優 勝 大 阪 府
3 位	広 島 県		3 位 福 岡 県

第17回大会奈良県予選

平成20年6月15日(日) 奈良市中央第二武道場

	優勝	準優勝	3位	3位
個人4年生	仲尾航介(怒涛館)	源田昇弘(怒涛館)	清水亮介(橿原)	小林徹郎(田原本)
個人5年生	砂田将吾(怒涛館)	東阪泰輔(怒涛館)	松下大介(郡山)	大中志津(高田)
個人6年生	植田恭介(怒涛館)	森元希(五大館)	牧野壮一郎(五大館)	東佑(桜井)
団体低学年	橿原市柔道クラブA	豊徳館野村道場A	桜井市柔道連盟A	橿原市柔道クラブB
団体高学年	鴻乃池道場	橿原市柔道クラブ	大和高田市柔道連盟	奈良柔道クラブ

・ 第17回大会各階級決勝戦

個人4年生	仲尾航介(怒涛館)	●	判定	源田昇弘(怒涛館)
個人5年生	砂田将吾(怒涛館)	●	判定	東阪泰輔(怒涛館)
個人6年生	植田恭介(怒涛館)		払い腰	森元希(五大館)
団体低学年	橿原市柔道クラブA	4	-	1 豊徳館野村道場A
団体高学年	鴻乃池道場	4	-	0 橿原市柔道クラブ

第17回全国大会

平成20年10月13日(祝・月) 東京・講道館

1 回 戦	奈良県 4	-	0 三 重 県
2 回 戦	奈良県 4	-	0 秋 田 県
3 回 戦	奈良県 2	-	0 東 京 都 A
準々決勝	奈良県 1	-	2 神 奈 川 県
優 勝	神 奈 川 県		準 優 勝 北 海 道
			3 位 兵 庫 県 青 森 県

第18回大会奈良県予選

平成21年6月21日(日) 奈良市中央第二武道場

	優勝	準優勝	3位	3位
個人4年生	中野斗真(橿原)	池田志穂(奈良)	下山けいん(五大館)	越智公平(豊徳館)
個人5年生	村上優輝(奈良)	仲尾航介(怒涛館)	嶋谷陸(五大館)	豊澤大樹(豊徳館)
個人6年生	東阪泰輔(怒涛館)	砂田将吾(怒涛館)	横井輝(奈良)	羽山健太(桜井)
団体低学年	橿原市柔道クラブA	怒涛館石津道場A	豊徳館野村道場A	天理櫛本道場
団体高学年	鴻乃池道場	橿原市柔道クラブ	大和郡山市柔道クラブ	怒涛館石津道場

・ 第18回大会各階級決勝戦

個人4年生	中野斗真(橿原)	●	判定	池田志穂(奈良)
個人5年生	村上優輝(奈良)	●	判定	仲尾航介(怒涛館)
個人6年生	東阪泰輔(怒涛館)	●	判定	砂田将吾(怒涛館)
団体低学年	橿原市柔道クラブA		-	2 怒涛館石津道場A
団体高学年	鴻乃池道場	3	-	2 橿原市柔道クラブ

第18回全国大会

平成21年10月12日(祝・月) 東京・講道館

1 回 戦 奈良県 4 - 0 香川県
 2 回 戦 奈良県 0 - 0 三重県 (代表戦負け)
 優勝 兵庫県 準優勝 愛知県 3 位 神奈川県 広島県

○ 第19回大会奈良県予選

平成22年6月20日(日) 奈良市中央第二武道場

	優勝	準優勝	3位	3位
個人4年生	中野寛太(桜井)	尾崎泰靖(怒涛館)	松田淳希(檀原)	辺川湧大(桜井)
個人5年生	中野斗真(檀原)	向井敬祐(豊徳館)	竹本和真(檀原)	越智公平(豊徳館)
個人6年生	豊澤大樹(豊徳館)	村上優輝(奈良)	城貴士(怒涛館)	小林徹郎(田原本)
団体低学年	五條五大館道場	明日香誠志館	天理櫛本道場	奈良柔道クラブ
団体高学年	怒涛館石津道場	五條五大館道場	天理順正館道場	桜井市柔道連盟

・ 第19回大会各階級決勝戦

個人4年生 中野寛太(桜井) ● 判定 尾崎泰靖(怒涛館)
 個人5年生 中野斗真(檀原) ● 判定 向井敬祐(豊徳館)
 個人6年生 豊澤大樹(豊徳館) ● 判定 村上優輝(奈良)
 団体低学年 五條五大館道場 3 - 1 明日香誠志館
 団体高学年 怒涛館石津道場 3 - 1 五條五大館道場

○ 第19回全国大会

平成22年10月11日(祝・月) 東京・講道館

2 回 戦 奈良県 4 - 1 静岡県
 3 回 戦 奈良県 4 - 0 栃木県
 準々決勝 奈良県 2 - 0 岐阜県
 準決勝 奈良県 2 - 1 東京 A
 決勝戦 奈良県 0 - 2 神奈川県
 優勝 神奈川県 準優勝 奈良県 3 位 徳島県 東京都 A

2 回 戦 3 回 戦
 奈良県 4 - 1 静岡県 奈良県 4 - 0 栃木県
 中野寛太 弘腰 松村孝紀 中野寛太 足払 野澤知莉
 中野斗真 弘腰 井上明日香 中野斗真 有効 鳴海勝成
 向井敬祐 有効 渡辺将一 向井敬祐 小外 多田草太
 豊澤大樹 内股 岩倉優輝 豊澤大樹 足払 大竹亜実
 村上優輝 大外 川井康平 村上優輝 × 長島立弥

準々決勝 準決勝
 奈良県 2 - 0 岐阜県 奈良県 2 - 0 東京都 A
 中野寛太 袈裟固 田中翔太 中野寛太 上四方 鈴木辰英
 中野斗真 × 永田かな 中野斗真 × 間瀬太紀
 向井敬祐 × 尾崎良慶 向井敬祐 × 戸高竜之介
 豊澤大樹 横四方 永縄太一 豊澤大樹 弘腰 稲垣由生
 村上優輝 × 田中大地 村上優輝 × 城下和樹

決勝
 奈良県 0 - 2 神奈川県
 中野寛太 大外 賀持喜道
 中野斗真 × 佐藤虎太郎
 向井敬祐 × 織茂友多郎
 豊澤大樹 × 小野優太
 村上優輝 小外 辻湧斗

○ 第20回大会奈良県予選

平成23年6月19(日) 奈良市中央第二武道場

	優勝		準優勝		3位		3位	
個人4年生	井上翔汰朗	(櫛本)	名村 慶太	(桜井)	和田太一郎	(櫻武館)	佐藤 輝斗	(豊徳館)
個人5年生	中野 寛太	(桜井)	梶本 光真	(柔心館)	尾崎 泰靖	(怒涛館)	松田 淳希	(檀原)
個人6年生	中野 斗真	(檀原)	藤井 大生	(高田)	土本 涼太	(桜井)	黒 智哉	(櫻武館)
団体低学年	生駒市柔道連盟		五條五大館道場A		怒涛館石津道場		豊徳館野村道場	
団体高学年	檀原市柔道クラブ		怒涛館石津道場		豊徳館野村道場		明日香誠志館	

・ 第20回大会各階級決勝戦

個人4年生	井上翔汰朗	(櫛本)	判定	名村 慶太	(桜井)
個人5年生	中野 寛太	(桜井)	判定	梶本 光真	(柔心館)
個人6年生	中野 斗真	(檀原)	判定	藤井 大生	(高田)
団体低学年	生駒市柔道連盟	2	-	1	五條五大館道場A
団体高学年	檀原市柔道クラブ	2	-	0	怒涛館石津道場

○ 第20回全国大会

平成23年10月11日(祝・月) 東京・講道館

1 回 戦

奈良県 1 - 2 三重県

優勝 神奈川県

準優勝 茨城県

3 位 三重県

東京都 A

1 回 戦

奈良県	1	-	2	三重県
井上翔汰朗				山口隆乃
梶本光真				弓矢健奨
中野寛太	上四方			磯部昂佑
藤井大生				新井涼平
中野斗真				山科良悟



奈良市中央第二武道場アクセス



JR奈良駅（7番のりば）近鉄奈良駅（13番のりば）より
奈良交通バスの「加茂駅」「南加茂台」「高の原駅」行きに乗車
「市営球場前」停留所にて下車
鴻ノ池運動公園内の駐車場が混雑します。